


活動テーマ	2017 年実績と今後の注力ポイント	目指す姿 (~2030)	関連する SDG s
安全・安心なサービスの提供	<p>実績：2017 年度は「一部国内事業会社における交通事故件数の削減（前年度比）」という目標に対して、残念ながら前年度比 2 件増加という結果になりました。</p> <p>今後の注力ポイント：従業員の採用数増加に対して、指導員が充足していないという要因を特定しましたので、2018 年度以降は指導員の増員や指導方法の見直しなどを行うことで、事故数の削減に取り組んでいきます。</p>	安全・安心な 交通社会の実現	
事業が与える環境負荷の低減 (CO2 排出量削減、資源の有効活用)	<p>実績：佐川急便において CO2 の総量と原単位あたりの排出量について前年度比-1%、廃棄物と水についても前年度よりも使用量削減という目標を掲げ、環境対応車の導入や各種物流効率化施策に取り組みました。その結果、総量では前年度比 95.4%を達成しています。</p> <p>今後の注力ポイント：さらなる環境負荷低減に向けて、中長期目標の策定と、グループ全体でのサプライチェーン CO2 排出量の把握と削減に向けた取り組みを推進していきます。</p>	環境に配慮した 事業推進	
環境保全活動の実施	<p>実績：SG ホールディングスグループでは、東京都と高知県、徳島県に社有林を保有し、森林の保全活動を継続的に行っています。また、スリランカのエクスポランカ社でも植樹活動を実施しています。</p> <p>今後の注力ポイント：従業員の巻き込みを強化するとともに自治体や地域コミュニティと連携しながら自然との共生を目指してまいります。</p>		
働きやすい組織づくり (人事制度・教育)	<p>実績：働きやすい職場づくりの一環として 2017 年度は国内グループ全体での残業時間を前年度より削減することを目標に掲げ、1.6%の削減を達成しました。これは、宅配専門で時間を限定して働くことができる宅配サポーター制度や、週休 3 日制、テレワークなどの柔軟で多様な働き方の推進と、業務効率化の取り組みによるものだと考えています。</p> <p>今後の注力ポイント：各種人事制度を拡充することで従業員の働きやすい環境を整備するとともに、新たな人材の獲得にもつなげていきます。</p>	個性・多様性を 尊重した組織づくり	
ダイバーシティ&インクルージョン の推進	<p>実績：グループ全体で 2020 年までに女性従業員比率 35%、また国内では女性管理職比率 10%を目指しており、2017 年度は女性従業員比率が 30%を突破、女性管理職も 4.2%まで増加しました。</p> <p>今後の注力ポイント：継続して研修や社内啓発活動を行っていくとともに、職域拡大や制度面の整備などの課題に取り組んでいきます。また、女性に限らず多様な人材が活躍できる組織風土を醸成していきます。</p>		

<p>ステークホルダーのニーズに 応えるサービスの提供</p>	<p>実績：「物流ソリューションの進化と生産性向上」と「積極的な最新技術の利活用によるサービスの差別化と業務の合理化」を中期経営計画で掲げ、お客さまの課題に取り組んでいます。2017年度は無線通信データを読み書きする自動認識システム RFID の導入や、日立物流と協働などによって作業の効率化や省人化を実現しました。</p> <p>今後の注力ポイント：最新技術の活用に向けた研究を進めるとともに、お客さまや他社との連携を強化し、社会に対して物流が提供できる価値を模索していきます。</p>	<p>総合物流ソリューションによる 新しい価値の創造</p>	
<p>国際一貫物流の拡充</p>	<p>実績：アジアを中心にコア事業であるフレイト・フォワーディング事業を展開するとともに、サプライチェーン全体をカバーする物流サービスを提供しています。スリランカに本社を置くエクスポランカ・フレイト社（EFL）では、お客さまからビジネスパートナーまでの物流の効率化と可視化を目的として、新しい業務管理システム「CargoWise」を導入し、まずはアメリカとベトナムで展開を開始しました。</p> <p>今後の注力ポイント：各国既存拠点の強化や成長市場への参入などにより、国際的な物流ネットワークを拡大していきます。</p>		
<p>高品質なサービスの提供</p>	<p>実績：佐川急便においては、輸送品質の向上を図るために「時間品質」「貨物品質」「応対品質」の3カテゴリ、8つの品質項目に対して目標を定めて対策を実施しました。</p> <p>今後の注力ポイント：上記対策の実行に加え、お客さまからのご意見を取り組みにつなげるための仕組みの改善や、グループ内での品質関連施策の横展開などを推進していきます。</p>		
<p>地域社会の発展につながる サービスの提供</p>	<p>実績：2017年度は、10の自治体と地域活性化の取り組みから災害支援まで多岐にわたる「地域活性化包括連携協定」を締結しました。また、人口減と少子高齢化に伴い、維持が難しくなっている地域交通網と連携し、貨客混載を推進しています。</p> <p>今後の注力ポイント：今後は海外での物流網の整備や、国内ではますます増加が見込まれるインバウンド需要に向けた観光振興などに積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>地域社会 への貢献</p>	
<p>既存取引先へのはたらきかけと 新規調達先の選別</p>	<p>実績：主に交通事故と車両故障の防止を目指して、幹線輸送の協力会社に対して安全パトロールやセミナーを実施しました。</p> <p>今後の注力ポイント：SGホールディングスグループのCSRに関する考え方をまとめた「取引先 CSR ガイドライン」の改訂と、取引先に対する協力依頼を実施することで、サプライチェーン全体でのCSR推進を加速させていきます。</p>	<p>サステナブル調達の 推進</p>	

<p>コーポレートガバナンス体制の整備</p>	<p>実績： SG ホールディングスでは、社外取締役 2 名を含む取締役 9 名で構成される取締役会が、グループ全体の経営および業務執行の監督機能を担っています。また、執行役員制度を導入し、経営の監督機能と業務執行を分離することで、権限と責任の明確化に取り組みました。</p> <p>今後の注力ポイント： 透明性のある経営を目指し、コーポレートガバナンスに関する情報開示を強化していきます。</p>	<p>責任ある経営基盤の構築</p>	
<p>コンプライアンスの徹底</p>	<p>実績： 国内グループと一部海外拠点において、倫理行動規範教育とインサイダー教育、人権・ハラスメント教育を全従業員に対して実施しました。また、2017 年度からはコンプライアンス・ホットラインの外部窓口を設置することで、安心して従業員が通報できる体制を整備しています。</p> <p>今後の注力ポイント： 効果的な教育施策の実施による適正な事業運営と社会的信用の維持・向上を図っていきます。</p>		
<p>リスクマネジメントの強化</p>	<p>実績： 国内グループと一部海外拠点において、安否確認訓練と情報セキュリティ教育、標的型攻撃メール対応訓練を行いました。</p> <p>今後の注力ポイント： 短期的なリスクに加えて、より長期的なリスクの洗い出しと対応をグループ全体の課題ととらえ、統合したリスク管理に取り組んでいきます。</p>		